

令和2年度「卓越大学院プログラム」面接審査ヒアリング実施要領

1. 目的

「卓越大学院プログラム」における優れたプログラムを選定するため、審査・評価部会において、申請書類の内容等について、申請者に対しヒアリングを行う。

2. ヒアリングの進め方

(1) 時間の配分

- | | | |
|-----------|-------|---------|
| ① 申請者側の説明 | 15分以内 | } 45分以内 |
| ② 質疑応答 | 20分以内 | |
| ③ まとめ | 10分程度 | |

※ 時間配分は一応の目安であり、進捗状況等により適宜変更する場合がある。

(2) 説明者

- ① 説明者は、申請内容等について責任をもって説明できる者とする。
- ② 出席者は、申請プログラムごとに、原則として学長、プログラム責任者、プログラムコーディネーターを含め4名以内とする。

(3) 説明内容及び資料

申請書類に基づき、別途パワーポイント等で作成した資料により特にアピールしたい点（説明事項は任意とする。）について、説明することとする。

また、事前に部会から、申請書類の内容等について個別に質問事項が提示された場合は、それらを含めて説明することとする。

3. ヒアリングに当たっての留意事項

- (1) 申請者側の説明（15分以内）が終了してから、質疑応答を行う。
- (2) 質疑応答（20分以内）では、効率性の観点から、一次審査結果及び申請者側の説明等更に明確にする必要があると思われる点等を中心に、端的かつ簡潔に質問することとする。
なお、申請書類に記載されている内容を改めて質問することはできる限り避けることとする。
- (3) 各々のヒアリング終了後、申請者側からの説明や質疑応答を踏まえ、各委員は別紙「面接審査表」を作成し、部会において合議の上、面接審査の結果をとりまとめる。
- (4) 申請者側の説明15分、質疑応答20分は厳守し、申請者側の説明が15分以内で終了しても、残り時間を質疑応答の時間に振り替えることはしない。

4. ヒアリング出席者の注意事項

- (1) 進行状況により開始時間が早まることを想定して、当該申請プログラムのヒアリング開始時間30分前にヒアリング会場に参集すること。
- (2) 説明時間が限られているため、説明はできるだけ簡潔に行うこと。
- (3) ヒアリング会場には、液晶プロジェクター、パソコン(Windows)及び接続ケーブル(D-sub 15ピンケーブル・3列ピン、HDMIケーブル)が用意してあるので、説明時に利用できる。
- (4) ヒアリング時に使用する追加説明資料がある場合は、ヒアリング当日に必要な部数(整理の都合

- 上A4判サイズとする）を用意すること。（詳細は別途通知することとする。）
- (5) ヒアリング内容の録音及び録画は、禁止する。

面接審査表

[領域： (うち最も重視する領域：)] 審査委員名：

機関名		機関番号		整理番号	—
プログラム名					
専攻等名					
プログラムコーディネーター名					
総合評価	A 採択すべき				
	B 不十分な点はあるが採択してもよい				
	C 不十分な点があり採択することは難しい				
	D 採択すべきでない				
<審査意見欄>					
上記と判断した根拠・理由等をできるだけ記入してください。					
(長所)					
(短所)					
(その他特記事項)					